

2.5 公開セミナーの実施

安全に関する教育事例の情報収集の一環として、石油化学産業を対象に米国の事故調査体制、企業の安全教育等に関する公開セミナー「産業界に貢献する安全工学教育」(2013年 12月 20日、横浜国立大学大学会館 会館ホール)を実施した。広く情報共有し議論する機会となった。講演は、横浜国立大学大学院 環境情報研究院 半井豊明客員教授から「米国化学事故調査委員会(CSB)と化学事故災害」について、住友化学株式会社レスポンシブルケア室 環境・安全グループ 宮田栄三郎主席部員から「プロセス安全に関する人材育成」について、公益社団法人山陽技術振興会 池上正 副会長(人材育成室室長)から「石油化学工場の安全教育」について講演していただいた。参加者は68名であった。「米国化学事故調査委員会(CSB)と化学事故災害」については、調査体制、活動概要、役割などについて解説された。山陽技術振興会では石油化学工場を主な対象にした教育事業を長年にわたり実施しており、安全工学、労働安全衛生、災害分析、体感教育等の科目が整備され、受講者に好評を得ていることや教育事業の実施・継続のために工夫を重ねていることについて解説された。住友化学では石油化学プロセス分野の社内教育の充実により安全を担う人材育成を強化していることについて説明された。当研究事業に特に有益な内容であり講師の了承のもとに当報告書に公開セミナー配布資料を掲載する。

セミナー閉会後に講師と当事業に関わる教職員とで意見交換した。概要を以下に示す。

- ・ 大学では企業での教育内容に比べ基礎をしっかり教育し、学生は化学工学などの知識を習得してほしい。知恵については個人差がある。

- ・ 学校教育ではいろいろな教育手法を入れるような動向があった。高校生を化学オリンピックに参加させ引率した経験があり、考えることをやらせた。知識は競わず考える経験は有益であった。
- ・ 対象を広くした画一的な教育は難しい。大学ではエリート教育がよい。
- ・ 100年単位で将来を見据え、国際社会において日本発の技術をもって活躍してほしい。
- ・ 教育効果の検証は難しい。

Yokohama National University, Center for Risk Management and Safety Sciences
 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 公開セミナー
産業界に貢献する安全工学教育

(講演概要)
 産業界では熟練技術者の大量定年退職の状況を受け、安全確保のために若手技術者に対する安全工学教育のさらなる充実が求められています。
 本セミナーでは、アメリカの産業災害事例、安全工学教育プログラムの調査結果について紹介し、その後、民間企業におけるプロセス安全の教育の取り組みについて紹介します。さらに、産業界と大学が連携して取り組んでいる安全工学教育事業について紹介します。各先生に取り組みを輪読していただきながら参加者とともに我が国の安全工学教育の現状を整理し、今後の安全工学教育のあり方について考えていきます。

このセミナーは、本学の国際教員および協賛プログラム「安心安全マネジメント」履修学生並びに学内外の社会人を対象としています。ご参加の希望者には個別のご案内いたします。また、厚生労働省「大学等教育研究機関における産業界及び若手技術者向けの安全工学教育プログラムの構築」の成果を発表するものです。

主 催：横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター
 協 賛：安全工学局、高圧ガス保安協会、日本高圧力技術協会、横浜国立大学リフレッシュ教育コース、
 よこはま県立産業技術院コンソーシアム (YAC)、YUVE C
 日 時：平成25年 12月 20日 (金) 13:30~17:00
 場 所：横浜国立大学 大学会館 4 階 会館ホール
 参加費：無料
 参加者数：40名程度
 プログラムと 担当 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 専任 吉井 昌 樹

13:30 「挨拶」
 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授 安心・安全の科学研究教育センター長 藤 江 肇 一

13:40 「米国化学事故調査委員会(CSB)と化学事故災害」
 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 客員教授 半 井 豊 明

14:30 「プロセス安全に関する人材育成」
 住友化学株式会社 レスポンシブルケア室 環境・安全グループ 主席部員 宮 田 栄 三 郎

15:20 休憩

15:30 「石油化学工場の安全教育」
 公益社団法人山陽技術振興会 副会長 兼 人材育成室室長 日本化学フェロー 池 上 正

16:20 質疑応答

〒240-8501 横浜市中区保土ヶ谷79-5
 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター
 FAX: 045-339-4294, E-mail: ans@ynu.ac.jp
 TEL: 045-339-3772, URL: http://www.ans@ynu.ac.jp

Center for Risk Management and Safety Sciences